

2026 年度一般選抜（コア試験・プラス試験）

出題ポイント

公共＋政治・経済

【法学部・経済学部・文学部・国際社会科学部】

出題の意図

本学の「公共＋政治・経済」の問題は、教科書を丁寧に勉強し、新聞を読むなど、日々の報道にも関心を払っていれば、十分に合格できる内容となっています。本学の問題は、大学での勉学を始めるために必要な基本的な学力の有無を測ることを目的としています。

法学部コア試験・文学部（英語英米文化学科）プラス試験・国際社会科学部プラス試験

解答又は解答例

- I. 問1 A：協議会 B：予算 C：条約
問2 c
問3 a
問4 D：文民
問5 b
問6 E：12
- II. 問1 ノン・ルフールマン（の原則）
問2 B：王権神授説（「帝王神権説」も可）
C：自然権
D：抵抗権（「革命権」も可）
問3 ロヒンギャ（民族）
問4 b, d
問5 a
問6 c
問7 d
- III. 問1 A 名目 B 歳入 C 360 D 弾力性 E 逆進性
問2 b
問3 (1) c (2) a
問4 (1) d (2) b
- IV. 問1 A：市場の失敗（「市場の限界」も可）
B：公共 C：外部
問2 d
問3 b
問4 a
問5 e
問6 c

経済学部コア試験・法学部プラス試験

解答又は解答例

- I. 問1 A：農林水産業 B：フリーランス
問2 a
問3 c
問4 C：フレックスタイム D：テレワーク
問5 E：8 F：労災
問6 ※解答なし

※出題不成立により受験者全員に与点した。

- II. 問1 ※解答なし
問2 A：世論操作（「世論工作」、「情報操作」も可）
B：パブリックコメント
C：アナウンスメント
問3 d
問4 ※解答なし
問5 a, c, d
問6 D：熟議（討議も可）

※出題不成立により受験者全員に与点した。

- III. 問1 A：公開市場操作 B：当座
C：量的緩和（「金融緩和」も可）
問2 b
問3 a
問4 D：公定歩合 E：コールレート
問5 d
問6 b

- IV. 問1 A：「傾斜生産」方式 B：「狂乱」物価
C：「構造」改革（規制、郵政も可）
問2 ア：b（所得） イ：f（デフレ） ウ：i（いざなぎ）
問3 D：「大量生産」（「経費削減」、「費用削減」等、経費削減の同義語も可）
E：「三種の神器」
F：「自動車」または「乗用車」
問4 d
問5 c

文学部コア試験

解答又は解答例

- I. 問1 A：公海 B：オタワ C：規約 D：ICJ
問2 c
問3 a
問4 E：ガザ
問5 d
- II. 問1 ア f イ i ウ n エ e オ j カ a キ c
問2 A：国連人間環境会議 B：国連環境計画
C：国連環境開発会議 D：公害対策基本法
問3 a
問4 e
問5 E：原子力（発電）
F：再生可能エネルギー、自然再生エネルギーも可
G：固定価格買取（制度）
- III. 問1 ア：f ウ：g エ：a オ：d
問2 b
問3 A：ニューヨーク B：有効
C：ニューディール D：重商
E：比較生産費 F：ドイツ
G：幼稚
問4 H：4 I：6 J：12
- IV. 問1 A：「農業基本」法 B：「格差」
問2 d
問3 C：耕作「放棄」地
D：「食料自給」率（「食糧自給」率も可）
問4 E：「農地」法 F：「6」次産業
問5 e

国際社会科学部コア試験・経済学部プラス試験

解答又は解答例

- I. 問1 A：マージナル B：権威主義
C：性別役割分担、性別役割分業も可
問2 c
問3 a
問4 d
問5 d
問6 a, b, c
- II. 問1 A：累積 B：積立 C：賦課
D：インフレ E 0
問2 d
問3 b
問4 b
問5 c
- III. 問1 A：金 B：オンス C：35
問2 f
問3 (1) b (2) c
問4 D：兌換 E：管理
問5 d
問6 c
- IV. 問1 A：最恵国 B：非関税 C：ウルグアイ
D：ブレグジット、ブレクジット、ブリグジットも可。
E：USMCA F：シンガポール G：CP
H：RCEP
問2 ア：c（東京） イ：b（ドーハ）
ウ：h（マーストリヒト） エ：l（フランクフルト）
問3 a, c, d
問4 c
問5 12

問題の構成

本学の「公共＋政治・経済」の問題は、法学部コア試験（国際社会科学部プラス試験）、経済学部コア試験（法学部プラス試験）、文学部コア試験、国際社会科学部コア試験（経済学部プラス試験）のいずれも大問4問であり、マークシート式と記述式の併用で出題されています。

令和8年度（2026年度）試験での配点については、法学部コア試験（国際社会科学部プラス試験）、文学部コア試験、国際社会科学部コア試験（経済学部プラス試験）は大問各25点の100点満点、経済学部コア試験（法学部プラス試験）は大問各30点の120点満点です。

また、試験時間については、法学部コア試験（国際社会科学部プラス試験）、経済学部コア試験（法学部プラス試験）、国際社会科学部コア試験（経済学部プラス試験）は60分、文学部コア試験は90分です。

出題分野の構成としては、公共・法律・政治分野、経済・経営分野、国際関係分野のそれぞれから出題されています。

問題の特徴

問題は、「次の文章を読んで設問に答えなさい」という形式のものが大半ですが、図表や統計資料を読み解くことを求める形式のものもあります。

マークシート式も、単に知識を問うだけでなく、適切な推論能力の有無を評価する問題も多く出題されています。計算を要求する問題が出題されることもあります。また、正しい（あるいは誤った）文章や語句を選択させる問題については、正答が1つの場合だけでなく、複数の正答を選択するように指定する場合や、正答数を明示せずに過不足なく正答を選択することを求める場合もあります。このため、曖昧な知識だけでは対応できず、すべての選択肢について正誤を正確に判断する能力が問われます。

解答の際の留意点

記述式では、人名、国名、機関名、法律の名称、出来事の名称や概念の名称などを問う問題が出題されます。計算を要求する問題が出題されることもあります。誤字や脱字、当て字などが減点対象となることはいうまでもありません。また、問題文の指示を無視した解答（たとえば、字数指定や、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベット略称などの指定を無視した解答）は、不正解となります。問題文を注意深く読み、字を丁寧に書くように心がけてください。

学習へのアドバイス

出題範囲は、高校で使用する教科書の内容が中心となります。ただし、教科書の本文だけでなく、欄外の注や図表などから出題されることもあります。

また、資料集を基にした問題や、社会情勢に関する時事問題など、教科書以外から出題されることもあります。公共・法律・政治・経済・経営・国際関係などに関する事象や概念をどれだけ深く理解し、最新の動向にも日頃から関心をもって学びを進めているかを知るためです。時事用語については、その意味や内容を正確に理解しておくことが望まれます。

基本的な事項については反復して学習し、知識を確実にするとともに、社会が抱える諸問題について、日常的にアンテナを張り、用語の丸暗記ではなく、公共・法律・政治・経済・経営・国際関係などについて、それらの全体像を総合的に理解するように心がけてください。